

# 令和3年度山梨県失語症者向け意思疎通支援者 9名が修了しました



山梨県失語症者向け意思疎通支援事業運営委員会  
委員長 赤池 三紀子

「令和3年度失語症者向け意思疎通支援者養成講習会」は途中 COVID-19 の拡大により研修会延期も余儀なくされましたが、去る12月11日かんぽの宿石和にて支援者9名が無事修了式を迎えました。今回の修了者9名を加えた計23名の支援者が県に登録され、令和4年度から意思疎通支援者として派遣される準備が整いました。

**失語症者支援で修了式**  
県言語聴覚士会

失語症当事者の意思疎通をサポートする支援者養成講習会の修了式が、笛吹市のかんぽの宿石和で行われた＝写真。

講習会は県言語聴覚士会（内山量史会長）が県から委託を受け、昨年度に続き実施。6月から計9回行い、受講者は実習や講義を通してコミュニケーションや外出支援の方法などを学んだ。

11日の式では内山会長が9人に修了証書を授与し、「よりよい支援につなげるため、学び続けてほしい」とあいさつ。修了証書を受け取った市川三郷町の石黒博

子さん(51)は「症状には個人差があり、一人一人に合った対応が求められる。当事者が伝えようとしている内容を正確に理解できるように研さんを重ねたい」と話した。

山梨日々新聞（令和3年12月27日）より



山梨県福祉保健部障害福祉課 地場崇課長補佐 田代鈴乃主事  
山田七穂県会議員



支援者代表挨拶



山梨県言語聴覚士会  
失語症者向け意思疎通支援事業運営委員

令和3年度第9回山梨県失語症者向け意思疎通支援者養成講習会外出同行支援実習②  
 「電車利用と昼食注文支援：甲府駅～石和温泉駅」12月11日（土）9：00～16：00



修了式の前には、最後の外出同行支援が実施され、支援者10名と当事者6名はST12名とともに甲府駅から石和温泉駅まで電車を利用しました。今年の2期生は遅刻者が必ずいる研修会となり、この最終日も半数が県立図書館の集合に遅刻し、当事者が先に集合したという意識の低さでした。それでも当事者から「とても有意義な体験だった」「発症してからはじめて電車に乗って楽しかった」という声をいただき支援者は嬉しそうでした。一方では、実際の派遣の際には実習のように言語聴覚士による援助がないことに非常に不安そうでした。今後の支援に向けた意識づけとなった一日と受け取りこれからに期待したいと思います。皆さま、大変、お疲れ様でした。

